○ ○ ○ ○ 様

表紙を作成して下さい。

（記入指示のコメントは作成時に削除して下さい。以下同じ。）

20○○年○○月○○日

作成者　２級ファイナンシャル・プランニング技能士

* ○　○　○

目　次

本文に追加があれば、各自で追加して下さい。ページ数を必ず記入すること。

はじめに　…………………………………………………………………………………………　　1ページ

１．神田様ご一家のプロフィール　……………………………………………………………　　2ページ

（１）家族構成

（２）現在の収支状況と将来の収支予測

（３）保有している財産

（４）住宅ローン

（５）加入している生命保険・医療保険

（６）加入している火災保険・自動車保険

２．神田様ご一家の夢・ご要望　………………………………………………………………　　○ページ

（１）定年後のライフスタイルについて

（２）保険関係の見直しについて

（３）運用方法について

（４）その他に気が付いた点について

３．神田様ご一家のライフイベント表　………………………………………………………　　○ページ

４．現状分析と問題点の整理　…………………………………………………………………　　○ページ

（１）キャッシュフロー分析

（２）個人バランスシート分析

（３）保障分析

（４）税金分析

（５）問題点の整理

５．問題点に対する解決策　……………………………………………………………………　　○ページ

（１）解決策①　住宅ローンの完済時期の見直し（繰上返済）

（２）解決策②　太郎様の生命保険契約の見直し

（３）解決策③　花子様の生命保険契約の見直し

（４）解決策④　各自で記入して下さい。

６．解決策を導入することにより得られる効果　……………………………………………　　○ページ

（１）キャッシュフローでの改善効果

（２）個人バランスシートでの改善効果

（３）保障面での改善効果

（４）実現できる神田様ご一家の夢・ご要望

おわりに　…………………………………………………………………………………………　　○ページ

添付資料　…………………………………………………………………………………………　　○ページ

・可処分所得の求め方

・公的年金

・退職金の手取額の求め方

・対策前のキャッシュフロー表

・対策後のキャッシュフロー表

はじめに

前書きを作成して下さい。

20○○年○○月○○日

作成者　２級ファイナンシャル・プランニング技能士

　○　○　○　○ （自署）

１．神田様ご一家のプロフィール（2020年12月31日現在）

（１）家族構成

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 | 続柄 | 生年月日 | 年齢 | 職　業 | 備　考 |
| 神田 太郎 様 | 夫 | 1966(昭和41)年 1月15日 | 54歳 | 会社員 | － |
| 　　　花子 様 | 妻 | 1967(昭和42)年 1月20日 | 53歳 | 専業主婦 | － |
| 　　　一郎 様 | 長男 | 1995(平成 7)年 8月21日 | 25歳 | 会社員 | 独身･別居 |
| 　　　二郎 様 | 次男 | 2003(平成15)年 3月19日 | 17歳 | 高校３年生 | 同居 |

（２）現在の収支状況と将来の収支予測

①　現在の収支状況

a 現在の収入　空欄を各自で記入して下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 年間収入金額 | ※１ |
| 給与収入・可処分所得（年間収入） | 　654万円（860万円） |

　　　※１　添付資料ｐ.○参照

b 現在の支出

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 年間支出金額 |
| 基本生活費 | 284万円 |
| 住居費 | 住宅ローン住宅維持費 | 108万円24万円 |
| 教育費 | 63万円 |
| 生命保険料 | ニコニコ生命いやし保険ほのぼの共済 | 21万円24万円2万円 |
| 損害保険料 | 火災保険地震保険自動車保険 | 2万円2万円5万円 |
| 車の維持費 | 25万円 |
| 合　計 | 560万円 |

②　将来の収支予測

a 将来の収入予測　空欄を各自で記入して下さい。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 時期 | 年間収入金額 | ※１ |  |
| 給与収入 | 2021年～2025年 | 　　万円 |  |
| 老齢基礎年金　太郎様 | 2031年～終　身 | 万円 | ※２ |
| 老齢厚生年金　太郎様 | 2031年～終 身 | 万円 | ※２ |
| 加給年金 太郎様 | 2031年 | 万円 | ※２ |
| 老齢基礎年金 花子様 | 2032年～終 身 | 万円 | ※２ |
| 老齢厚生年金　花子様 | 2032年～終　身 | 万円 | ※２ |
| 退職金 | 2026年 | 万円 | ※３ |
| 個人年金保険 | 2026年～2040年 | 万円 |  |

 ※１　添付資料ｐ.○参照　※２　添付資料ｐ.○参照　※３　添付資料ｐ.○参照

b 将来の支出予測　空欄を各自で記入して下さい。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 時期 | 年間支出金額 | 変動率 | ※４、５ |
| 基本生活費 | 2021年～終　身 | 　　万円 | 1％ |
| 住宅ローン | 2021年～2030年 | 万円 | － |  |
| 住宅維持費 | 2021年～終　身 | 万円 | 1％ | ※４ |
| 教育費 | 2021年2022年～2024年 | 万円万円 | － |  |
| 生命保険料（ニコニコ生命） | 2021年～2025年 | 万円 | － | ※６ |
| 生命保険料（いやし保険） | 2021年～2025年 | 万円 | － | ※６ |
| 生命保険料（ほのぼの共済） | 2021年～2031年 | 万円 | － | ※６ |
| 損害保険料（火災保険） | 2021年～終　身 | 万円 | － | ※６ |
| 損害保険料（地震保険） | 2021年～終　身 | 万円 | － | ※６ |
| 損害保険料（自動車保険） | 2021年～2042年 | 万円 | － | ※６ |
| 車の維持費 | 2021年～2042年 | 万円 | 1％ | ※４ |
| 車の買換え | 2024年、2030年、2036年 | 万円 | 1％ | ※４ |
| レジャー費 | 2026年～2035年 | 万円 | 1％ | ※４ |
| 結婚資金援助 | 2023年、2031年 | 万円 | 1％ | ※４ |
| バリアフリー化工事 | 2031年 | 万円 | 1％ | ※４ |

※４　変動率考慮後の金額は、対策前のキャッシュフロー表を参照してください。

※５　二郎様が就職後は年間40万円を減額します。

※６　保険料は今後も定額とします。

（３）保有している財産

　　①　金融商品

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 種類 | 名義 | 残高または時価 |
| 普通預金 | 太郎　様 | 120万円　 |
| 定期預金 | 太郎　様 | 300万円　 |
| 定期預金 | 花子　様 | 180万円　 |
| 定額貯金 | 太郎　様 | 100万円　 |
| 外貨建ＭＭＦ | 太郎　様 | 200万円　 |
| 株式投信 | 太郎　様 | 100万円　 |
| 合　計 | 1,000万円　 |

②　不動産、その他

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 種類 | 名義 | 時価 |
| 自宅（土地） | 太郎　様 |  2,000万円　 |
| 自宅（家屋） | 太郎　様 |  1,500万円　 |
| 車 | 太郎　様 | 30万円　 |
| 合　計 | 3,530万円　 |

（４）住宅ローン

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 借 入 先 | 残　高 | 金　利 | 返済条件など |
| 水道橋銀行 | 　1,000万円 | 全期間固定 1.6％ | 年間返済額108万円完済は2030年12月団体信用生命保険加入済み |

（５）加入している生命保険・医療保険

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | ニコニコ生命 | いやし保険 | ほのぼの共済 |
| 種類 | 定期保険（疾病災害入院特約付） | 個人年金保険(税制適格) | 基本タイプ |
| 契約者 | 太郎 様 | 太郎 様 | 太郎 様 |
| 被保険者 | 太郎 様 | 太郎 様 | 花子 様 |
| 受取人 | 花子 様 | 太郎 様 | 太郎 様 |
| 契約日 | 2016年1月 | 2001年1月 | 2020年1月 |
| 保険期間 | 2025年12月まで | 払込期間2025年12月まで | 1年（65歳まで自動更新） |
| 保険金 | 死亡保険金2,000万円入院給付金5,000円（日額） | 15年確定年金60歳から年額52万円 | 病気死亡共済金　60歳まで　400万円65歳まで　200万円入院共済金5,000円（日額） |
| 解約返戻金 | なし | 460万円（2020年12月31日現在） | なし |
| 保険料 | 月払い　17,400円（主契約　13,600円）（特約部分 3,800円） | 月払い　20,000円 | 月払い　2,000円 |

（６）加入している火災保険・自動車保険

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 火災保険 | 地震保険 |
| 契約日 | 2020年11月25日 | 2020年11月25日 |
| 保険期間 | １年 | １年 |
| 保険料 | 年払い　22,800円 | 年払い　23,480円 |
| 備考 | 保険金額　　1,500万円加入対象　　建物のみ建物構造　　Ｈ構造 | 保険金額　 建物保険金額の50％所在地　　 東京都 |
|  |
|  | 自動車保険 |
| 契約日 | 2020年7月10日 |
| 保険期間 | １年 |
| 保険料 | 年払い　45,930円 |
| 備考 | 花子様、二郎様は免許なし |

２．神田様ご一家の夢・ご要望

（１）定年後のライフスタイルについて

①　各自で記入して下さい。

②　各自で記入して下さい。

③　各自で記入して下さい。

（２）保険関係の見直しについて

①　各自で記入して下さい。

②　各自で記入して下さい。

（３）運用方法について

①　現在の貯蓄の運用方法について、アドバイスのご要望がございました。

②　退職金の運用方法について、アドバイスのご要望がございました。

（４）その他に気が付いた点について

①　各自で記入して下さい。

３．神田様ご一家のライフイベント表　空欄を各自で記入して下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 西暦 | ご家族の年齢 | ご家族のイベント |
| 太郎様 | 花子様 | 一郎様 | 二郎様 | 太郎様（家族全体） | 花子様 | 一郎様 | 二郎様 |
| 2020年 | 54歳 | 53歳 | 25歳 | 17歳 |  |  |  |  |
| 2021年 | 55歳 | 54歳 | 26歳 | 18歳 |  |  |  |  |
| 2022年 | 56歳 | 55歳 | 27歳 | 19歳 |  |  |  |  |
| 2023年 | 57歳 | 56歳 | 28歳 | 20歳 |  |  |  |  |
| 2024年 | 58歳 | 57歳 | 29歳 | 21歳 |  |  |  |  |
| 2025年 | 59歳 | 58歳 | 30歳 | 22歳 |  |  |  |  |
| 2026年 | 60歳 | 59歳 | 31歳 | 23歳 | 定年退職レジャー個人年金受給 |  |  |  |
| 2027年 | 61歳 | 60歳 | 32歳 | 24歳 | レジャー個人年金受給 |  |  |  |
| 2028年 | 62歳 | 61歳 | 33歳 | 25歳 | レジャー個人年金受給 |  |  |  |
| 2029年 | 63歳 | 62歳 | 34歳 | 26歳 | レジャー個人年金受給 |  |  |  |
| 2030年 | 64歳 | 63歳 | 35歳 | 27歳 | レジャーローン完済車買換個人年金受給 |  |  |  |
| 2031年 | 65歳 | 64歳 | 36歳 | 28歳 | 公的年金受給開始レジャーﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ化工事個人年金受給 |  |  |  |
| 2032年 | 66歳 | 65歳 | 37歳 | 29歳 | レジャー個人年金受給 | 公的年金受給開始 |  |  |
| 2033年 | 67歳 | 66歳 | 38歳 | 30歳 | レジャー個人年金受給 |  |  |  |
| 2034年 | 68歳 | 67歳 | 39歳 | 31歳 | レジャー個人年金受給 |  |  |  |
| 2035年 | 69歳 | 68歳 | 40歳 | 32歳 | レジャー個人年金受給 |  |  |  |
| 2036年 | 70歳 | 69歳 | 41歳 | 33歳 | 個人年金受給 |  |  |  |
| 2037年 | 71歳 | 70歳 | 42歳 | 34歳 | 個人年金受給 |  |  |  |
| 2038年 | 72歳 | 71歳 | 43歳 | 35歳 | 個人年金受給 |  |  |  |
| 2039年 | 73歳 | 72歳 | 44歳 | 36歳 | 個人年金受給 |  |  |  |
| 2040年 | 74歳 | 73歳 | 45歳 | 37歳 | 個人年金受給 |  |  |  |
| 2041年 | 75歳 | 74歳 | 46歳 | 38歳 |  |  |  |  |
| 2042年 | 76歳 | 75歳 | 47歳 | 39歳 | 廃車 |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 2050年 | 84歳 | 83歳 | 55歳 | 47歳 |  |  |  |  |

４．現状分析と問題点の整理

（１）キャッシュフロー分析

①　現状の収支分析について

　　　a　現在の収支状況が、黒字（貯蓄可能額がある状態）かどうかの検討

各自で記入して下さい。

空欄を各自で記入して下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 収入 | 可処分所得 | 万円 |
| 合計 | 万円 |
| 支出 | 基本生活費 | 万円 |
| 住宅ローン | 万円 |
| 住宅維持費 | 万円 |
| 教育費 | 万円 |
| 生命保険料 | 万円 |
| 損害保険料 | 万円 |
| 車の維持費 | 万円 |
| 合計 | 万円 |
| 収支差額 | 万円 |

　　　ｂ　支出の各項目についての検討

　　　　・消費支出について

各自で記入して下さい。

空欄を各自で記入して下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 家計調査 | 神田様ご一家 |
| 世帯人数 | 3.16人 | 人 |
| 可処分所得（月額：Ａ） | 54.1万円 | 万円 |
| 消費支出　（月額：Ｂ） | 36.3万円 | 万円※ |
| 消費性向　（Ｂ／Ａ） | 67.1％ | ％ |

* 年間支出から、住宅ローンと保険料を除いた金額をもとに計算

・住宅ローンの支払額について

各自で記入して下さい。

　　　　・保険料の支払額について

各自で記入して下さい。

②　将来の収支分析について

各自で記入して下さい。

（２）個人バランスシート分析

①　資産および負債のバランスについて

a 個人バランスシートを作成した結果、債務超過になっていないかどうかの検討

各自で記入して下さい。

空欄を各自で記入して下さい。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　個人バランスシート

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 資　産 | 金額 | 負債・純資産 | 金額 |
| 金融資産 | 　　  | 住宅ローン | 　 万円 |
| 普通預金 | 万円 | 負債合計 | 　万円 |
| 定期預金 |  万円 |  |  |
| 定額貯金 |  万円 |  |  |
| 外貨建ＭＭＦ |  万円 |  |  |
| 株式投信 |  万円 |  |   |
| 生命保険 |  万円 | 純資産 | 万円 |
| 不動産・動産 |  |  |  |
| 自宅（土地） |  万円 |  |  |
| 自宅（家屋） |  万円 |  |   |
| 車 |  万円 |  |  |
| 資産合計 |  万円 |  負債・純資産合計 | 万円 |

b その他

各自で記入して下さい。

②　金融資産のバランスについて

各自で記入して下さい。

（３）保障分析

　　①　生命保険契約（死亡保障）について

各自で記入して下さい。

空欄を各自で記入して下さい。

（参考）太郎様の必要死亡保障額の算出（太郎様が55歳で亡くなられたと想定）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 支出 | ①生涯生活費 | 死亡時の基本生活費×70％×二郎様大学卒業まで（5年間）284万円×70％×5年間減額後の基本生活費×50％×（花子様の平均余命－5年間）（284万円－40万円）×50％×（34年間－5年間） | 4,532万円 |
| ②住宅維持費 | 住宅維持費×花子様の平均余命（24万円×34年間） |  万円 |
| ③保険料 | 花子様の保険料（2万円×12年間）損害保険料（4万円×34年間） |  万円 |
| ④教育費 | 二郎様の大学授業料など（153万円＋123万円×3年間） |  万円 |
| ⑤予備費 | 結婚資金援助（100万円×2人） | 万円 |
| レジャー費（50万円×1/2×10年間） |  万円 |
| バリアフリー化工事費 |  万円 |
| 支出合計（Ａ） |  万円 |
| 収入 | 公的年金 | ①遺族厚生年金 | 81万円×34年間 |  万円 |
| ②中高齢寡婦加算 | 59万円×11年間 |  万円 |
| ③老齢基礎年金 | 67万円×22年間 |  万円 |
| ④預貯金残高 | 太郎様死亡時の貯蓄残高（2020年末） | 万円 |
| ⑤個人年金保険 | 解約返戻金（2020年末） |  万円 |
| ⑥死亡退職金 | 今回の提案では、1,800万円と仮定しています | 万円 |
| 収入合計（Ｂ） | 万円 |
| 必要死亡保障額（Ａ－Ｂ） | 万円 |

（注）太郎様の死亡想定時（55歳）の花子様の年齢は54歳、現在54歳の女性の平均余命は約34年（令和元年の簡易生命表より）として計算しています。なお、万円未満は四捨五入し、変動率を考慮する金額も現在価値で計算しています。

　②　生命保険契約（医療保障）について

a 太郎様の医療保障

各自で記入して下さい。

b 花子様の医療保障

各自で記入して下さい。

③　損害保険契約について

a 火災保険と地震保険

火災保険は、時価を保険金額として加入されておりますので、問題はありません。ただし、築年数が経過するほど時価は下落するため、万一、火災などの被害が発生した場合には、再建築に必要な資金を火災保険で確保できなくなる可能性があります。その対策としては、価額協定保険特約（再建築に必要な金額を基準に保険金を支払う契約）があります。詳しい資料を用意しておりますので、ご要望の場合はお申し付けください。

また、建物について加入している地震保険は、加入限度額（建物の保険金額の50％）まで加入されておりますので、このまま継続することをお勧めします。

b 自動車保険

現在加入している自動車保険については、特に問題はありません。このまま継続することをお勧めいたします。

ただし、最近では「家族限定保険（リスク細分型保険）」など、各社とも特色ある保険を発売していますので、車の買換えなどの際には、一度見直しすることをお勧めします。

（４）税金分析

　　①　相続税対策について

相続税の対策を講じる必要があるか否かは、太郎様が現在保有する財産の金額と相続税計算上の「遺産に係る基礎控除額」とを比較する必要があります。遺産に係る基礎控除額は、次のとおり求めます。

遺産に係る基礎控除額＝3,000万円＋600万円×法定相続人の数

太郎様が亡くなられた場合、太郎様の財産を引き継ぐ法定相続人は、花子様とご子息２人となり、上記の算式中、法定相続人の数は3（人）となりますので、遺産に係る基礎控除額は下記のとおり算定されます。

遺産に係る基礎控除額（4,800万円）＝3,000万円＋600万円×3

太郎様が現在保有されている財産の金額は、前述の個人バランスシートより4,810万円（花子様名義分の定期預金180万円を除く）となり、遺産に係る基礎控除額である4,800万円とほぼ同額となります。

したがいまして、現時点では、相続税の心配はありませんが、今後財産が増加するようであれば、改めてご相談に応じて参ります。

　　②　贈与税対策について

財産の贈与を受ける受贈者単位で、年間110万円の基礎控除額を超える贈与には贈与税が課されます。ご子息への結婚資金援助は、贈与税の基礎控除額を概ね下回ることが予想されますので、これについては対策の必要はありません。

　　③　その他の税金対策について

特にありません。

（５）問題点の整理

以上の分析結果から問題点を重要度の高い順に挙げると、次のようになります。

問題点①　住宅ローンの完済時期の見直し

問題点②　太郎様の生命保険契約の見直し

問題点③　花子様の生命保険契約の見直し

問題点④　各自で記入して下さい。

５．問題点に対する解決策

（１）解決策①　住宅ローンの完済時期の見直し（繰上返済）

　　　現在の貯蓄残高や太郎様の定年まで期間を勘案し、住宅ローンの返済期間を5年間短縮することをご提案いたします。

具体的には、まず元本保証のない株式投信100万円、外貨建ＭＭＦ200万円を売却し、残りの180万円は定期預金を利用することで合計480万円を繰上げ返済のため取り崩します。

この結果、2025年には住宅ローンが完済し、60万円の利息負担額を軽減することが可能となります。

現在の住宅ローン　　　　　　　　　　　　 一部繰上返済後の住宅ローン

|  |  |
| --- | --- |
| 住宅ローン残高 | 1,000万円 |
| 固定金利 | 1.6％ |
| 年間返済額 | 108万円 |
| 残存期間 | 10年 |

|  |  |
| --- | --- |
| 住宅ローン残高 | 520万円 |
| 固定金利 | 1.6％ |
| 年間返済額 | 108万円 |
| 残存期間 | 5年 |

　　（参考）利息軽減額（万円未満は四捨五入）

・繰上返済額の算定

住宅ローン償還予定表の2021年から2025年の5年間に支払う元金部分、480万円を繰上返済します。

・現在の住宅ローン返済額合計

108万円×10年＝1,080万円

・繰上返済後の住宅ローン返済額合計

108万円×5年＝540万円

・利息負担額の軽減

(1,080万円－540万円)－480万円＝60万円

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　　　返済額108万円 |  |  | 利息軽減額60万円繰上返済額480万円 | 利息　20万円元金　520万円 |

借入時 　　繰上返済 完済時

 　　　　　　　　　2020 ’21 ’22 ’23 ’24 ’25 ’26 ’27 ‘28 ‘29　2030

 　　　　 ↓　繰上返済後（次ページ参照）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　　　　返済額108万円 |  |  | 利息　20万円元金　520万円 |

 　 借入時 　 繰上返済 完済時

 　　　　　　　　　2020 ’21 ’22 ’23 ’24　2025

（２）解決策②　太郎様の生命保険契約の見直し

各自で記入して下さい。

なお、見本に示した「すこやか生命」は実在しません。必ず、実在する保険会社の実在する保険商品を提案してください。「すこやか生命」のままでの提案の場合、あるいは「すこやか生命」の名称を単に実在の生命保険会社の名称に変更しただけで保障内容が架空のものである場合などは、お電話にて再提出をお願いする場合があります。

（３）解決策③　花子様の生命保険契約の見直し

各自で記入して下さい。

なお、見本に示した「すこやか生命」は実在しません。必ず、実在する保険会社の実在する保険商品を提案してください。「すこやか生命」のままでの提案の場合、あるいは「すこやか生命」の名称を単に実在の生命保険会社の名称に変更しただけで保障内容が架空のものである場合などは、お電話にて再提出をお願いする場合があります。

（４）解決策④　各自で記入して下さい。

各自で記入して下さい。

６．解決策を導入することにより得られる効果

（１）キャッシュフローでの改善効果

各自で記入して下さい。

空欄を各自で記入して下さい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 解　決　策　の　内　容 | 対 策 前 | 対 策 後 | 改善金額 |
| 解決策① | 住宅ローンの繰上返済 | 1,080万円  | 1,020万円  | 60万円  |
| 解決策② | 太郎様の生命保険契約の見直し（ニコニコ生命） | 105万円  | 万円  | 万円  |
|  | 万円  | 万円  | 万円  |
| 解決策③ | 花子様の生命保険契約の見直し（ほのぼの共済） | 22万円  | 万円  | 万円  |
|  | 万円  | 万円  | 万円  |
| 解決策④ |  | 万円  | 万円  | 万円  |
|  | 万円  | 万円  | 万円  |
|  | 万円  | 万円  | 万円  |
| 合　　　計  | 万円  | 万円  | 万円  |

　　　※ 変動率考慮後の金額は、対策後のキャッシュフロー表を参照してください。

（２）個人バランスシートでの改善効果

各自で記入して下さい。

空欄を各自で記入して下さい。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　個人バランスシート

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 資　産 | 金額 | 負　債 | 金額 |
| 金融資産 | 　　 | 住宅ローン | 520万円  |
| 普通預金 | 120万円  | 負債合計  | 520万円  |
| 定期預金 | 300万円  |  |  |
| 定額貯金 | 100万円  |  |  |
| 生命保険 | 460万円  |  |  |
| 不動産・動産 |  | 純資産 | 万円  |
| 自宅（土地） | 2,000万円  |  |  |
| 自宅（家屋） | 1,500万円  |  |  |
| 車 | 30万円  |  |  |
| 資産合計  | 万円  |  負債・純資産合計 | 万円  |

（３）保障面での改善効果

各自で記入して下さい。

（４）実現できる神田様ご一家の夢・ご要望

各自で記入して下さい。

おわりに

後書きを作成して下さい。

20○○年○○月○○日

作成者　２級ファイナンシャル・プランニング技能士

○　○　○　○

添付資料

・可処分所得の求め方　　空欄を各自で記入して下さい。

　　・給与所得控除額

　　　　　860万円＞850万円　∴195万円（上限）

　　・給与所得

　　　　　　　　万円－　　　万円＝　　　万円

　　・所得控除

　　　　　　　万円（基礎控除）＋　　万円（配偶者控除）＋　　万円（扶養控除）

＋　　万円（生命保険料控除）＋　　万円（地震保険料控除）

＋　　　万円（社会保険料控除）＝　　　万円

　　・課税総所得金額

　　　　　　　　万円－　　　万円＝　　　　万円

　　・税金（所得税・住民税）

　　　　　　　　万円×　　％－　　　万円＝　　　万円

　　・可処分所得

　　　　　　　　万円－　　　万円－　　　万円＝　　　万円（万円未満四捨五入）

（参考）給与所得控除額の速算表（抄）

|  |  |
| --- | --- |
| 給与の収入金額（Ａ） | 給与所得控除額 |
|  　　　　　　 180 万円以下 | （Ａ）×40％－ 10万円（最低55万円） |
|  180 万円超 360 万円以下 | （Ａ）×30％＋ 8万円 |
|  360 万円超 660 万円以下 | （Ａ）×20％＋ 44万円 |
|  660 万円超 850 万円以下 | （Ａ）×10％＋110万円 |
|  850 万円超 |  195万円（上限） |

（参考）所得税・住民税合算税額速算表（抄）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 課税総所得金額 | 税率 | 控除額 |
|  195 万円以下　 | 15％ | － |
|  195 万円超　　　330 万円以下　 | 20％ | 9.75万円  |
| 　 330 万円超 695 万円以下　 | 30％ | 42.75万円  |
| 　 695 万円超 900 万円以下　 | 33％ | 63.6万円  |
| 　　900 万円超 1,800 万円以下 | 43％ | 153.6万円  |

※ 復興特別税については考慮しないものとします。

・退職金の手取額の求め方　　空欄を各自で記入して下さい。

　　・退職所得控除額

　　　　　　　　万円＋　　　万円×（39年※－　　年）＝　　　　万円

※　勤続年数に1年未満の端数がある場合は1年として計算するため39年となります。

　　・退職所得の金額

　　　　　（　　　　万円－　　　　万円）×1/2＝　　　万円

　　・税金（所得税・住民税）

　　　　　　　　万円×　　％－　　　　万円＝　　　万円

　　・退職金の手取額

　　　　　　　　万円－　　　万円＝　　　万円（万円未満四捨五入）

（参考）退職所得控除額の速算表

|  |  |
| --- | --- |
| 勤続年数 | 退職所得控除額 |
| 20年以下 | 40万円×勤続年数（最低80万円） |
| 20年超 | 800万円＋70万円×（勤続年数－20年） |

（参考）所得税・住民税合算税額速算表（抄）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 課税総所得金額 | 税率 | 控除額 |
|  195 万円以下　 | 15％ | － |
|  195 万円超　　　330 万円以下　 | 20％ | 9.75万円  |
| 　 330 万円超 695 万円以下　 | 30％ | 42.75万円  |
| 　 695 万円超 900 万円以下　 | 33％ | 63.6万円  |
| 　　900 万円超 1,800 万円以下 | 43％ | 153.6万円  |

※ 復興特別税については考慮しないものとします。

・公的年金

1. 年金の全体像

a　太郎様（1966(昭和41)年1月15日生まれ）

65　 66　　 67　　 68　　 69　　 70 71歳

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 老齢基礎年金 77万円 |  |
| 老齢厚生年金 130万円 |  |
| 加給年金39万円 |  |

ｂ　花子様（1967(昭和42)年1月20日生まれ）

64　 65　　 66　　 67　　 68　　 69 70歳

|  |  |
| --- | --- |
|  | 老齢基礎年金 70万円 |
|  | 老齢厚生年金　6万円 |

　　②　公的年金の内訳

a　太郎様

・65歳の年金

老齢基礎年金 　　　　　　　　 77万円

老齢厚生年金　　　　　　　　　　 130万円

加給年金 　　　　　　　　 39万円

・66歳以降の年金

老齢基礎年金 　　　　　　　 　77万円

老齢厚生年金　　　　　　　　　 　130万円

ｂ　花子様

・65歳以降の年金

老齢基礎年金　　　　　　　　　 　70万円

老齢厚生年金 　　　　　　　　　 6万円

最終確認用チェックリスト（このチェックリストを提出する必要はありません）

提案書を提出する前に、下記のチェックリストで最終確認を行ってください。

提案書には、この10項目の要素がもれなく掲載されていることが必要です。言い換えれば、この要素が１つでも欠けている提案書は大きく減点され、不合格となる可能性が高くなります。



※ 「対策前キャッシュフロー表」「対策後キャッシュフロー表」が添付されていない方が目立ちますので、ご注意ください。

なお、「対策後キャッシュフロー表」の２枚目にあるグラフが次のような方は、支出金額の入力漏れが考えられます。再度ご確認ください。

　

これらの不備がある場合、提案書の採点担当者よりお電話させていただくことがありますので、ご了承ください。

この提案書提出用紙は、提案書テキストP５・６と同じものです。提案書テキストP５・６を切り取るか、この提案書提出用紙を印刷するか、いずれかの方法によりご利用ください。

 　　※ ご注意

受講開始時（お申込時）の情報（「氏名」「住所」など）と上記提案書提出用紙に記載した情報が異なる場合は、大原のメールアドレスまで必要事項をご記入の上、ご連絡ください。

なお、メールアドレスおよび記入内容等の詳細は、別紙「AFP認定研修を受講される方へ」をご確認ください。

連絡事項があればご記入ください。



※　提案書が合格点（100点中60点以上）に達していない場合には、「提案書提出用紙」に記載していただいた電話番号へご連絡いたします。

なお、合格者へのＡＦＰ認定研修修了証明書の発送予定日は、次のとおりです。

２０２２年１月受検…２０２１年１１月１０日頃

２０２２年５月受検…２０２２年　３月１０日頃

２０２２年９月受検…２０２２年　７月１０日頃

提案書を１月受検、５月受検、９月受検ごとの締切日より早めに提出し合格した場合であっても、修了証明書は全修了者へ一斉に発送いたしますので、ご了承ください。